

掛川塾歴歩会 第5回活動【日坂小学校】
～金谷駅-日坂旧街道ウォーキング～

1. 活動日時

平成31年4月29日(月)【晴れ】 東海道線
8時36分掛川発

2. 散策地(金谷駅から日坂迄徒歩移動) 8時50分金谷着
金谷から日坂の間には、金谷坂と菊

川坂の石畳、西行の歌で知られる小夜の中山がある魅力的な道。金谷から細い坂道の家並みを歩くと国道473号線と合流する。ここが金谷坂の登り口で少し歩くと石畳道の入口に達する。

参加者7名(鈴木百、山崎、鈴木織、遠藤、荒木、窪野、安田) 出発前掛川駅



歴歩会初の電車移動。
。休日の朝なのに、思ったよりはお客さんが多い気がした。

金谷駅前にはハイキングコースの看板があるため、迷うことなし。さあ、



出発((^v^))！



先頭を歩くのは安田さん。諏訪原城跡の案内があり、早くもテンションMAX！

～本遠山～

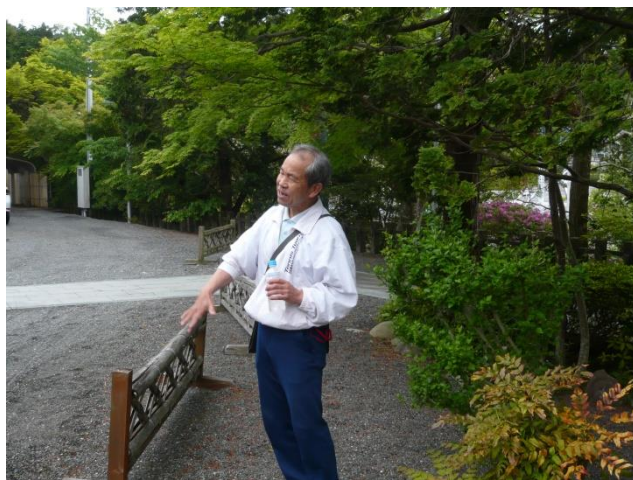
松尾芭蕉句碑



【安田さん解説】

松尾芭蕉は伊賀上野の出身。伊賀上野といえば、忍者の街。忍者の血が流れているのではないかと。隠密でスパイとの噂もある。芭蕉は東海道筋で多くの句碑を残している。このあと、日坂までにも多くの芭蕉の句碑を見つけることができる。

ペットボトルをマイク代わりに説明する安田さん。それを聞く参加者のみなさん。



結構急な坂道

後ろからの撮影、すみません。



では、前からの撮影。



車道を横切った先に金谷の石畳の入口が続く



石畳は、歩きやすくするために設置し、



その後荒れていたのを、平成3年に町民およそ600人のボランティアにより復元が行われ、約430mの石畳道が完成した。今、街道の石畳みで往時を偲ぶことができるのは、この金谷のほか、箱根峠、中山道十曲峠の三か所だけとなる。

☞ 石畳途中にある庚申堂。江戸時代の大盗賊だった「日本左衛門」が夜働きをするため、着替

えの場所として使っていたとの伝説が残っている。掛川市大池でも婚礼の日に夜働きされたのは、第一回の歴歩会でも勉強したよね。

諏訪原城跡

安田さん解説



諏訪原城は、武田方の城として天正元年に作られる。二年後の天正三年に長篠の戦いにて武田軍が負け、武田の勢力が無くなり、徳川軍がこの城を落とす。その後、諏訪原城は、豊臣軍が西からの攻めに対して、駿府城守るための一大拠点となる。

この諏訪原城、掛川城、高天神城などの城は国境の城として、歴史上、重要な拠点となる。この諏訪原城は、続日本100名城。静岡県内の100名城と続100名城は、ご覧の通り。



この深い堀が諏訪原城を守る要となる。



熱心なご兩人！



諏訪原城をあとにしたみんなは菊川市に下り、日坂方面に向かう。金谷宿と日坂宿の間のように短い距離でも、急所難所が続くので特別に間の宿「菊川」が置かれた。

菊川から日坂への登りは相当きつい坂道。日々ウォーキングをしている山崎さんは軽快に登ってい



るが、他のみなさんは結構苦労した。急な坂過ぎて写真撮るの忘れた。m()m

やっと峠の頂上に出る。右手に久延寺がある。ここは関ヶ原の戦いが行われた時、「山内対馬守一豊」が茶亭を営んで「徳川家康」をもてなした場所と言われている。夜泣き石でも有名。久延寺の隣に峠の茶屋「扇屋」がある。夜泣き石伝説に登場する「水飴」が「子育て飴」として売られている。



ここで仕事を終えた織江さんと合流。



夢灯
葛飾北
斎や歌川
広重の浮
世絵が展
示してあ
る。展示
だけでなく、武藤
さんが詳

しい解説をしてくれる。とてもわかりやすい。個人で所有されているらしく驚き。



美術館の見学の仕方は、お気に入りの作品を見つけることだそうです。皆さんはお気に入りの作品はありましたか。

さあ、お待ちかねのもぐもぐタイム。



小夜の中山公園での昼食。外で食べるおにぎりは美味しいね。でも少し寒かったかな。展望も凄く綺麗でした。



さあ、これから山を下り日坂方面へ。途中道幅も狭く、急な下り道もあるが、無事日坂に到着。



日坂では、鈴木克実さん、朝平さんが迎えてくれました。ありがとうございました。旗籠屋「川坂屋」は、寛政年間に問屋役を務めたこともある斎藤右次衛門が始めた



と伝えられている。現存の建物は宿場の殆どが焼失した寛永五年「日坂宿大火」後再建されたもの。江戸時代の面影を遺す精工な木組みと細かな格子が特徴的。では、上がり込んでみましょう。



山岡鉄舟



考えられた欄窓



9月頃、欄窓にから西日が差し込み反対側の梁に、光の映像が映る仕掛けがみられる。



掛川市指定有形文化財建造物「川坂屋お茶室」。基は文化二年に建てられたもの。



この衝立の書は、西郷隆盛の実弟、西郷従道が書かれ



たもの。

「せいをもってかをまつ」…自らは落ち着いた状態を保ち、敵が混乱するのを待つという意味。

さあ、最後の目的地「事のまま神社」



古来より願い祈る人々が絶えない神社仏閣。掛川市には日本で唯一、言の葉で事を取りもつ神様を主祭神とする「事任（ことのみま）八幡宮」。

同神社は古くから「事のままに願いが叶う」と言われ『枕草子』にも登場したほど。数奇な歴史を辿り、近年ではパワースポットとして注目を集めている。



ここから道の駅まで徒歩。掛川駅まで車で移動。
～お疲れ様でした～

※日坂地区（日坂小学校）区達成 今回のコース約12.5キロ 約14,000歩。

次回活動：エコパ周辺 7月13日（土）（予定）